

摂津市文化振興計画推進審議会要点録

○日 時 令和2年8月19日(水) 午後1時00分～2時30分

○会 場 摂津市役所 201会議室

○出席委員(敬称略)

1号委員 杉本 久未子

仁木 裕美

2号委員 大賀 静江

渡邊 なほみ

布川 博

古谷 邦雄

北岡 恵美子

前田 勝子

鴻池 勝彦

佐々木 信子

杉浦 徹

○欠席委員(敬称略)

2号委員 森 圭史

本田 佳郎

安田 真孝

○出席職員 文化スポーツ課

同課長 松方 和彦

同課 西村 公輔

担当者 西本 光宏

○配布資料

- ・次第
- ・第2期摂津市文化振興計画進行管理調査報告
- ・セッピイイベントガイド原稿
- ・各団体の活動まとめ・ブルーウィングス クラブ案内
- ・団体の新規取り組み調査票
- ・摂津市文化振興計画推進審議会名簿
- ・配席図

【議題】

①第2期摂津市文化振興計画進行状況報告

②セッピイイベントガイドの発行について

③その他 各団体の活動・新しい取り組み紹介(含む新型コロナ対策関連)など

○議 事 (要点)

議題 1. 第 2 期摂津市文化振興計画進行状況報告

事務局 事前に委員の方からいただいたお問合せについて回答する。第 2 期摂津市文化振興計画進行管理調査報告の 1 ページ目、文化イベント等の延来場者について、昨年度のちびっこ劇団ひなどりで減少 (1,530 人→1,380 人)、リトルカメラリアコンクールで減少 (431 人→339 人)、市民芸能文化祭で増加 (4,150 人→6,650 人) した。ちびっこ劇団は、新型コロナウイルスの影響により、3 月の練習・発表が中止となった。リトルカメラリアコンクールは、予選日が大阪国際音楽コンクールの決勝と重なり、出場者がそもそも少なかった。市民芸能文化祭は、例年より開催日程が長かった点、50 周年で委託先の文化連盟がイベントの盛り上げに例年にもましてご努力いただいた点、来場者の勧誘のために出演者の日程を掲載したポスターとパンフレットを兼用できるものを作成した点、などが理由と考える。

委員 リトルカメラリアコンクールの運営委員から音楽連盟が外れたのはなぜか。

事務局 平成 30 年度から運営委員会については事務的な会議の場とさせていただいた。運営委員をしていただいていた皆様は、本選の表彰式などへもご出席いただくことになり、無報酬にも関わらず、労力をかけていた。ご意見については運営委員会の場ではなく、個別にいただければということをご説明し、以降の運営委員会は、市と事業受託先で行っている。

委員 文化は日々の積み重ね、行政でも文化に関係するところにはベテラン職員を配置して、継続的な文化振興を実施してほしい。

議題 2. セッピーイベントガイドの発行について

事務局 セッピーイベントガイドは、本審議会でのご意見をいただき始めたもので、人間科学大学の学生らの協力のもと、例年 9 月に発行している。昨年はイベントの掲載数が多かったため、A 3 三つ折りで掲載しきれず、1/3 の差し込みを入れて対応した。今年は新型コロナウイルスの影響で、イベント掲載数が少なく、今掲載しているイベントについても今後中止となる可能性がある。このような状況なので、今年度は紙の冊子での発行はやめ、ホームページに掲載するのみとさせていただきたい。

委員 ホームページ掲載にあたっては、色使いを優しくしたり、大きさを個々人で印刷しやすいよう A 4 サイズにしたりするなど、調整が必要。学生が外部ホームページを立ち上げ、順次、更新できるような形にすることもできる。

委員 この機会に、年間のプログラムを載せられないか。現在は 9 月～11 月のイベントのみで春や冬のイベントが載せられていない。スタッフや情報収集のやり方など、課題はあると思うが、今後、協議できればと思う。

事務局 ホームページなら、イベント数を制限なく掲載でき、すぐに変更が可能。紙での発行なら、手渡しで情報を広げたり、手軽に見返したりしやすい。それぞれで良さがあるので、どういった形が良いか、今後ともご意見をいただいて考えていきたい。

会長 以前は、市民の方に編集を協力いただいていたことがある。学生は卒業してメンバーが変わっていくので、そういった協力者を探していくことも重要ではないか。

議題3. その他 各団体の活動・新しい取組み紹介（含む新型コロナ対策関連）など

委員（大阪人間科学大学） 大学の授業について、前期はほとんどがリモート。保育所などでの実習も延期または中止。市のイベントへの参画も、イベント自体が中止となりできなかった。後期の授業は対面とリモートのハイブリットで実施予定。秋から冬のイベントも延期・中止となる可能性が高い。講義の際、教室は除菌・アルコール消毒を徹底して実施している。オープンキャンパスも予約制で参加者を制限し、マスクとフェイスマスクを装着のうえ、ソーシャルディスタンスを確保して実施している。

委員（摂津市演劇協会） 協会に所属の団体については、7月まで活動なしと聞いている。8月からは公民館などで、市の使用条件に従って活動を開始した団体もある。3月の演劇祭は、実施する予定とのことなので、発表方法などを各団体で工夫して準備していく。

委員（摂津市文化連盟） 4月の総会は書面会議、6月の文化連盟祭も中止。文化連盟の所属は66団体あるが、ほとんどの団体が活動できていないと聞いている。

委員（摂津市音楽連盟） 歌も管楽器も唾が飛び、密となる。音楽は合奏など、かたまって行うことが多いので、離れて行うとコミュニケーションが取りにくく、練習がそもそもできていない。演奏会などは、たくさんの方に見てほしいもの。せっかく開催しても来場者を制限することになるのは寂しく、演奏の響きも変わる。衛生上の観点からも開催は難しい。音楽連盟の年内のイベントは全て中止となっており、年明けも難しいと思われる。練習ができるようになって、以前のレベルに戻すのに時間がかかる。リモートでの合奏では、微妙にタイミングがずれるので難しい。

委員（摂津市文化財愛護会） 文化財愛護会は今年で35周年。会員は75名くらいいるが高齢化が進んでおり、事業などをやめることについても賛成が多い。若い人が多ければこういった中でもなんとか頑張ろうとなるかもしれないが、今はできない状況。例年実施しているバスツアーに関して春も秋も中止となり、歴史講演会も行わなかった。35周年の記念式典についても中止とした。記念誌だけはなんとか作成したいと思っているが、なかなか前に進んでいない。来年までには作りたい。この審議会でも以前話したが、団体の備品の保管場所に困っている。今後、皆さんと考えていけたらと思う。

会長 今後、審議会で話し合う機会を持てたらと思う。

委員（摂津市こども会育成連絡協議会） 総会、研修会などは中止、三島ブロックスポーツ大会なども中止となった。こども会スポーツ大会については7月に開催予定だったが延期とし、現在11月の開催を予定しているが、今後の状況によってまた考えなければならない。各地域のこども会活動についても自粛中となっている。

委員（摂津市身体障害者福祉協会） 毎月の定例会、総会、交流会、日帰り旅行、防災講演会も中止。スポーツクラブのグランドゴルフは月1回実施、会員のみを12月に開催予定。文化部では、手作り、カラオケなど中止となっており、会員からは早期の再開希望の声が聞かれている。12月のグランドゴルフ大会、風船バレーボール大会については今のところ実施する予定となっている。

委員（摂津市老人クラブ連合会） 市の使用条件に従って、グラウンドや室内施設を使用し、グラウンドゴルフなどを徐々に始めている。老人福祉大会は基本、中止となったが、金婚おしどり夫婦のお祝いは記念品を送付。清掃活動は実施する方向で進めている。老人クラブ会

員は減少傾向であるが、60周年の今年はV字回復を目指したい。

委員（一般公募・摂津市スポーツ推進委員） 総会や定例会、体験会などもほぼ中止。スポーツ推進委員のみの研修は実施予定。7月にはマスクを付け、スティックリング大会を実施。キンボールなどの激しい運動は中止、ハイキングも電車に乗るので5月は中止。11月に実施するハイキングについては、電車を使わずに徒歩だけで実施するのを検討中。実際に実施するかはまた、市と相談して決めていく。今後も、何でも中止とするのではなく、役員会で話し合って考えていく。

委員（一般公募・NPO 法人せつつブルーウィングス） 市民の健康、福祉の向上、子供の健全育成に関わった教室を開催。現在でも窓を開けるなど施設の使用条件を守ってスポーツ教室などを開催している。対象者は、すでに何らかの活動をしている方よりも、家に閉じこもっているような方。自分に合った文化・スポーツを見つけてもらい、生涯に渡って楽しんでもらうのが目標。30余りの教室をしているが、今後の課題の一つとして、スマホや電子マネーについての教室を開きたいと思っている。問題は講師が見つからないことと、大勢になったときにどうするか。講師料は足代くらいしか出せないが誰かいればご紹介いただきたい。参加者が多くなると密になるので会場をどうするか。課題のもう一つは、すでに取り組んでいるが、家で閉じこもっているお年寄りを対象に、昔話や自分の元の仕事の話をしてもらう場を持つようとしている、コーヒーや紅茶、茶菓子を囲んで話し合っている。参加者は4～5人だったが、先日は9人と増え、大きな部屋が必要となっている。身体のみ健康だけでなく、心の健康、文化面の活動にも取り組んでいく。

会長 現在も、市の施設の使用はできるのか。

事務局 体育館は基本的に窓を開け、密にならないように、誰が来たか分かるようにし、それらを守っていただく誓約書を書いてもらい、使用いただいている。文化施設に関しては、部屋の定員を半分とし、大声を発する場合は横一列で向かい合わないようにするなど、制限を設けている。制限により団体によっては活動が難しいなどのご意見もいただいているが、現在の状況では致し方ないにご理解いただいている。

委員 市内でのイベントについて、新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、どこの責任になるのか。

事務局 市主催事業に関しては、もちろん市の責任となる。実行委員会での開催であれば実行委員会の代表も責任が問われる。

会長 新型コロナウイルス発生という大変な状況だが、この先、市の文化をどうしていくのか、安全対策や今後発生していく問題にどう対処していくのかなど、この審議会で話し合い、情報共有していけたら良いと思う。

委員 さまざまなイベントの開催可否について、とりあえず中止というのではなく、これからはどこかで折り合いを付けていくことが必要になると思う。全て中止とすれば安全だが、社会は回らなくなる。自分の団体では、とりあえず市の施設の使用条件に沿って活動していくことにしているが、他市の施設の使用条件なども調べていただき、次の会議で共有すれば、各団体の参考になるのではないかと。

事務局 本市の施設の使用条件に関しては、国のガイドラインや近隣各市の状況を参考にしながら、決定している。市の施設使用に関しては、その条件に沿って使用いただくことをお願いしたい。